可能性を開く絶好のチャンス

学オリンピック

画を定めて様々な政策を行っています。

を国の方向として掲げ、 めにも科学技術への期待は高まるばかり 力を高めて経済の成長基盤を強くするた 競争が激化する中で、日本の産業の競争 そこで、政府では、科学技術創造立国

るときはありません。さらに、国際的な に、科学技術の力が今ほど求められてい められています。より豊かな社会を築き、 エネルギーなどの大きな問題の解決が求 うに取り組んでいるのか教えてください ていきますし、国際社会では環境、 これからの日本は、 日本が国際的に貢献していくため 少子高齢化になっ 食料、 すが、 ようか。 変革につなげていく「イノベーション」

人材育成の第一歩科学技術への興味こそ

科学技術を生み出すのはヒトですから、 人材の育成は大変重要だと思うので どのように取り組んでいくのでし

優れた人材の育成はとても大切です。

はどのようにお考えですか。

したが、国際科学オリンピックについて

世界のトップを目指した オリンピックへの新政策

科学技術への高まる期待豊かな社会のために -はじめに、科学技術の振興にどのよ この計画はすでに第3期を迎え、今年の

開発を進める人材の育成。四つめは、科 あります。一つめは、あらゆる成果の源 この中で力点を置いているところは四つ 術基本計画がスター 学の新しい発見を、実際の社会や経済の 的な研究開発の推進。三つめは、研究・ である基礎研究の充実。二つめは、 月からこれから5年間の新たな科学技 したところです。 戦略

をおいたカリキュラムの研究・開発を進

や自由研究のコンクールなども、政府と をもってもらいたいと強く願っています。 子どもたちはもちろん、国民の皆さんに しても大いに奨励しています。そして、 さらに、科学技術に関するコンテスト ぜひ、科学技術に対して理解や関心

科学技術コンテストのお話しが出ま

内閣府特命担当大臣 (科学技術政策)

松田岩夫さん

どのように育てていくかが、私の大きな 仕事の一つであり、日本にとっても大変 どうにもなりませんから、子どもたちを 若い世代、特に子どもたちがいなけ グ」をはじめ、科学技術への興味を増し術を家族で考える親子タウンミーティン 今年4月の科学技術週間では、「科学技 ちの科学技術への関心が低下しており、 重要なことなのです。 こうした問題への取り組みの一環として、 大いに問題だと思っています。このため、 ところが、最近の調査では、子どもた 科学の分野に進もうと思う

国際科学オリンピックは

未来の日本をつくる事業

政策担当大臣に、その高まる期待を語っていただいた。

は、理数科学復権の起点として注目が集まっている。松田科学技術

子どもたちの理数科離れが深刻化する中、国際科学オリンピック

スハイスクー 国各地で開催していくこととしています。 また、しばらくすると夏休みを迎えます 教育を実施しており、理科や数学に重点 うことを目指し キャンプ」の回数を増やして、今年は全 れに指定された高校では、先進的な理数 たっぷりと体験する「サマ てもらう行事を積極的に実施しました。 また、よりレベルの高い理数教育を行 泊まりがけで科学実験や観察などを ル」も実施しています。こ パーサイエン サイエンス

スポーツの世界では、全国高校野球大会などの国民的なイベントがあり、これが子どもたちに夢と目標を与えているわけです。これと同じように、科学の分野でも、いわば「知」のオリンピックとして、誰もが知っているようになればすばらしいことですから、これを大いに盛り上げていきたいと思っています。この一環として、先日、「日本科学オリンピック」の構想を発表しました。現在、それぞれの分野の国内ですが、もっとたくさん、例えば各分野で一万人くらい参加者は数百人から千人くらいですが、もっとたくさん、例えば各分野で一万人くらい参加者は数百人から千人くらいですが、もっとたくさん、例えば各分野で一万人くらい参加者は数百人から千人くらいですが、もっとたくさん、例えば各分野で一万人くらい参加者を発表しました。現在、それぞれの分野の国内を選れてきた方々の活動がより大きく実るよう、大きた方々の活動がより大きく実るよう、大きた方々の活動がより大きく実るよう、大きたいと考えています。そして、科学オリンピックを真会(仮称)」を設けて、官民が一体となった支援をしていきたいと考えています。そして、科学オリンピックというものが国民的な行事になり、また、そのほかの自由研究やロボットなどのコンテストについてもどんどん活発になっていくことを願っています。

理科を教室で学ぶだけでなく、実際に 体験することで自然科学本来の楽しさを知る そんな授業に取り組む学校が増えている。

を見て触れ自分で確かめるといった、いのもつ楽しさや面白さに触れたり、実物 めてのこと。 は大学受験という最終目標があるため そむける子もいるが、そっと触れ「かわ る学校も増えつつある。 今までの反省も踏まえ、最近は自然科学 にとって、チョウの幼虫に触れるのは初 掘り出すことから始まる。大半の子ども 地中で越冬させたオオムラサキの幼虫を 生の総合学習は、前年の1年生が採集し わば「科学する心」を育む授業を実践す 偏りがちという弊害があった。こうした どうしても入試問題を解くための勉強に 埼玉県にある私立大妻嵐山中学校1年 同校教頭の松原愛子先生は、この学習 い」とつぶやく子どもが多いそうだ 中には悲鳴をあげたり



学内にある「大妻の森」に放され 当・笹川真理先生) たちに与えたい す。こんな理科の感動と夢を生徒 の感動は、 6月にはチョウは成虫になり、 して、思わぬ結果が生まれた時 一生の宝だと思ってま

のではないだろうか。

たちの科学する心を育む教育につ

の狙いを次のように語る。

この授業の目的です」 な思考力、表現する力を育てることが た枠組みを超え、科学する心と論理的 掘り出された幼虫は、キャンパスの り、校内や近くの森などでの自然オオムラサキの保護活動を調べた 体験を通し、自然に対する感覚や 続けられる。同時に、 で飼育され、クラスごとに観察が エノキの木に張られたネットの中

少し離れて自由な発想でアプロ・ あるんです。特に実験。教科書を く面白かったというのが出発点に 環境問題に対する意識を養う。 自分自身、理科の授業がすご 全国各地の

加している。 徐々にではあるが、理系学部志望者は増 驚き、感動できる体験こそが、

表現する力を育む 可欠になります。 文系とか理系とい

科学する心、

、妻嵐山中学校総合学習の試み

の進学を目標に、数学や理科の授業に力

大学受験生の理系離れが問題になって

「女性は感情の動物などとよく言われ

なぜだろうと

一方では薬学部や医学部などへ

を入れる学校も増えて

いる。

ただ理系科目の強化といってもそこに

考能力や表現能力は社会に生きる上で不 集めながら実証していく自然科学的な思 疑問をもち、順序だてて類推し、情報を

関心をより深化させることを目的にしたサキの飼育を通して培った環境問題への習は終わるが、2年次になるとオオムラ習は終わるが、2年次になるとオオムラ 授業がスター トする。

整理など2月の研究発表会に向けての準かれデータのグラフ化や観察スケッチのの言う「考え表現する力」の育成である。 発表に向けての準備が始まる。松原先生にパソコンの操作法を学ぶなどして研究る。この間も観察は続けられるが、同時

全国高校化学グランプリ (国際化学オリンピック)

国際生物学オリンピック国内大会 (国際生物学オリンピック)

2007年7月にカナダ、サスカトゥーン で開催される第18回国際生物学オ リンピック(IBO2007)に派遣する 日本代表の選考を以下のように行な います。

〈応募資格〉2007年7月の時点におい て、高等学校または高等学校と同等の 学校(高等専門学校等)に在籍し、3 年生(4年制定時制・通信制課程では 4年生)以下であること(応募時点での 第16回IBO大会(中国、北京)に参加した日本代表 中学3年生も可) (第1次選考) 2006



年12月23日(土) 全国主要都市29カ所(ホームページを見てください)(第2次 選考〉2007年3月16日(金)~18日(日)(3日間) 東京大学大学院総合文 化研究科(東京都目黒区駒場)(応募方法)下記ホームページから直接応募する か、ホームページ上の申込書式をプリントしFAXまたは郵送で応募してください。**〈締** め切り〉2006年10月31日(火)必着

●問い合わせ先 国際生物学オリンピック日本委員会事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 科学技術館内 TEL.03-3212-8518 FAX.03-3212-7790 http://www.jbo-info.jp



自律型ロボットの設計製作を通して次世 代のRoboCupの担い手のみならず科学技 術リテラシーを持つ市民を育てる、それが ロボカップジュニアの目的です。国際ルール のもと自由な材料と独創的なアイデアでロボ ットづくりに取り組む国際的な科学技術教 育活動です。さらに学習の成果をロボット 競技を通して世界の仲間たちと確認し合



える学びの共同体づくりを目指し毎年1回世界大会を開催しています。ロボカップ 2007世界大会ジュニアリーグは2007年夏に米国アトランタで開催されます。

〈競技内容・参加資格〉2007年7月1日(日)時点で15歳以上19歳以下のメンバーが 1人以上いるチームは、セカンダリー部門のサッカー、レスキュー、ダンスの3種類の競 技に参加可能。また、すべてのメンバーが14歳以下のチームはプライマリ部門に参加 可能。〈国内選抜の流れ〉2006年秋~2007年3月にかけて北海道、北信越、関東、 東海、関西、九州の各ブロックでブロック代表を決定。2007年5月に開催予定のロボ カップジュニア2007日本大会で世界大会へ計18チームを選抜予定〈参加方法〉最初 の選抜大会は各ブロック内の都道府県単位で行われます。詳しくはホームページをご 覧ください。**●問い合わせ先** 特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会 E-mail:junior@robocup.or.jp http://www.robocup.or.jp/junior.html



(国際数学オリンピック)

国際数学オリンピック(IMO)ベトナム大会(2007年7月)の日本代表選手候補を 選抜する第17回JMOを行います。

関心を寄せてもらえるのではない 道されることで、多くの人が科学

しています。

(応募資格)ベトナム大会開催時点で高等学校またはそれ以下の学校(高等専門 学校の場合は高校の相当学年)の在学生で20歳未満の者(申し込み方法)郵便局の青色の郵便振替「払込取扱票」に必要事項 (ホームページ参照)を記入して受験料5,000円を振り込んでください(口座番号:00170-7-556492加入者名:数学オリンピック財 団)。参考書をお送りします。受験票は12月上旬に発送〈締め切り〉10月31日(火)当日消印有効〈予選〉2007年1月8日(月・祝) 13:00~16:00 解答のみを記す12問の筆記試験(本選)2月11日(日・祝)13:00~17:00 予選Aランク者に対し証明問題5問の 筆記試験。その結果、20人前後の日本代表選手候補者を選び春合宿を実施。合宿終了後、日本代表選手6人を決定します。(その **他)**A・Bランク者には大学推薦入試の特典があります。合宿中に表彰式を行い表彰状、メダル、副賞が授与されます。

情報といって、数学、化学、生物学、ピックです。数学、化学、生物学、 情報といった分野で開催されて

様々な科学技術コンテストのな

このような世界的なコンテストに

まるのではないかと期が、国際科学オリンはコンテストのなかでも、 本コンテストにチャレなコンテストにチャレなコンテストにチャレなコンテストにチャレなコンテストにチャレス・結果が新聞などで報るくの人が科学技術に

科学を学ぶ子ど

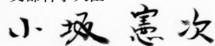
への励ましになり、 ノジすることは、

●問い合わせ先 財団法人数学オリンピック財団 TEL.03-5272-9790 http://www.imojp.org/



日本の未来を支えるのは科学技術です。 皆さんの持つ無限の可能性を活かし、 国際科学オリンピックにチャレンジしてく ださい。その経験と自信は、将来、必ずや 大きな力になると信じています。

文部科学大臣



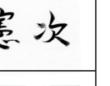


□ 日本情報オリンピック □ 器 (国際情報オリンピック)

を選抜する第6回日本情報オリンピック(JOI2006-2007)を以下のように開催します。本選の成績優 秀者(約10人)は春の合宿に招待されて選手選抜テストに参加できます。また、予選や本選の成績 優秀者には、大学への推薦入試に関する特典があります。合宿でのテストの結果、成績上位者に メダルと副賞が授与され、その中からIOIへ派遣される4人の日本代表選手が選抜されます。

(応募資格)2007年夏のIOI開催時点で高等学校またはそれ以下の学校(高専の場合は高校の相 当学年)の在学生で満20歳未満の者(予選)12月17日(日)13:00~16:00 ウェブ上で実施予定(本選)2007年2月12日(月・振 休) 13:00~16:00 ウェブ上または東京会場で実施予定(受験料)無料(申し込み方法)7月1日(土)より下記ホームページで

●問い合わせ先 特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会 TEL.03-5272-9794(13:00~17:00、土・日・祝日を除く) http://www.ioi-jp.org/





京工業大学大岡山キャンパス ●問い合わせ先 社団法人 日本化学会内 全国高校化学グランプリ事務局 TEL.03-3292-6164 FAX.03-3292-6318 http://gp.csj.jp/

全国物理コンテスト「物理チャレンジ」

はできませんが、二次選考進出者には各種賞品が用意されていますし、また成績

優秀者に特別な入試制度を設けている大学もあります。締め切り間近です。高校

(応募資格) 高校生または、高校と同等の学校(高等専門学校の場合は高校相当

の学年)の生徒で、20歳未満の者**〈締め切り〉**FAX:6月23日(金)まで、インターネッ

ト:6月30日(金)まで。**〈一次選考〉**7月17日(月・祝)**〈二次選考〉**8月19日(土) 東

(国際物理オリンピック) 「物理チャレンジ」は、わが国で初めての全 国規模の物理コンテストとして、アインシュタイン の業績を記念した「世界物理年」の2005年夏 に「国際物理オリンピック」と同じ合宿形式によ り岡山県で開催されました。理論問題と実験

全国高校化学グランプリは,今年も

「海の日」に全国の30会場で筆記試験で

ある一次選考が開催され、そのうちの上

位約60人が実験を中心とした二次選考

に進出し賞を競い合います。高校1・2年

生の中の成績優秀者8人程度が翌年の 国際化学オリンピックの代表候補となり、

特別なトレーニングを受けたのち、さらに

その中から4人が代表選手に選ばれま

す。3年生はオリンピックの代表となること

生の皆さんのチャレンジを待っています!



問題が各5時間という、全国から集まった100 人の高校生・中学生にとって経験したことのないタフな方式にもかかわらず、コンテスト 後の感想は「おもしろかった。もっとやっていたかった」という、初々しくも頼もしい「パワ ー」を感じさせてくれるものでした。この入賞者の中から選ばれた5人が、日本初参加と なる今年7月の国際物理オリンピック・シンガポール大会の派遣代表となりました。

今年の「物理チャレンジ」は7月に岡山県で、来年は茨城県筑波研究学園都市での 開催が計画されています。「物理チャレンジ」では、合宿形式のメリットを生かし、著名な 科学者・技術者との対話形式の講座、最先端研究施設の見学、研究者・教育者・大 学院生・大学生との交流・対話、そして地域文化体験等の行事も多彩に盛り込み、 「物理のおもしろさ」を体感できる機会となるよう工夫してあります。ぜひ皆さんも「チャレ ンジ」してみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

●問い合わせ先 物理チャレンジ組織委員会事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 科学技術館内 TEL.03-3212-8518 FAX.03-3212-7790 http://www.phys-challenge.jp

※お寄せいただいた個人情報は、各団体の責任において適切に管理いたします。